

令和6年

7月7日

13:00 ▶ 15:30

(開場12:30～)

入場無料

後日YouTube配信実施

平川市文化センター 文化ホール
(平川市光城2丁目30-1)



出演団体

- ◇尾崎獅子踊保存会 (平川市)
- ◇御関所太鼓保存会 (平川市)
- ◇柏木町荒馬保存会 (平川市)
- ◇津軽神楽保存会 (弘前市)
- ◇晴山獅子舞保存会 (十和田市)
- ◇代野番楽保存会 (秋田県大館市)

司会:オダギリユタカ



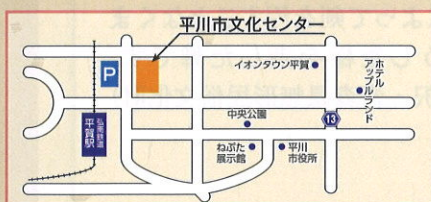
観覧申込方法

電話または申込みフォーム

- 電話 0172-44-1221 (受付時間 9:00～17:00 ※日・月を除く)
- 申込みフォーム ホームページからお申し込みください



最新の情報はホームページをご覧ください



問合せ 平川市郷土資料館(平川市文化センター内)

電話:0172-44-1221 FAX:0172-44-8780

メール:kyoudoshiryoukan@city.hirakawa.lg.jp

平川市教育委員会

ひらかわ郷土芸能発表会

柏木町荒馬保存会



演目：柏木町荒馬踊り

サナブリ、虫送りが芸能化し、藩主の領地見廻りを表したもので、約490年前から伝わるとされています。囃子は笛、太鼓、手平鉦で構成され、舞手は音頭取りを先頭に馬を引く若侍を表す太刀振、馬の蹄の音を表すササラ、田畑で働く農耕馬を表す荒馬になっています。(平川市無形民俗文化財)

御関所太鼓保存会



演目：子供太鼓曲打ち、御関所みこし太鼓

御関所が復元されたのを機に、郷土出身の奈良一三（いちぞう）氏によって作曲されました。三笠山のたたずまいや出湯の姿、平川の清流の様相を、太鼓の響きでアレンジしながら長寿と豊年の願いをこめて作られました。

尾崎獅子踊保存会



演目：山踊り

踊りは猿の面をつけた先導役の「おかしこ」と二匹の雄獅子、一匹の雌獅子の獅子三匹と囃子方によって構成されています。協調や争い、和合を通して安住の地を探し求める内容の中に、祖霊崇拜、五穀豊穡、悪疫退散の思いが込められています。(青森県無形民俗文化財)

代野番楽保存会



演目：代野番楽

およそ300年前に旅芸人から伝承しました。昭和35年頃の一時中断を経て、昭和48年に若者達が復活させ、現在に至っています。勇壮な「武士舞」と滑稽な「道化舞」の14演目がありましたが、中断により伝承が途絶え、現在は「露払い」「一人武士」「金巻」「二の曾我」「高立」「恵比寿舞」の6演目のみを演じています。(大館市無形民俗文化財)

晴山獅子舞保存会



演目：権現舞

権現舞は、勇壮な囃子によって、獅子頭を持つ人が一人で下舞を舞ってその場を清めます。神おろしの下舞は、法螺貝一声に始まり、数珠の舞、九字の印、扇の舞、たすきの舞の順序から本場の豪快な舞を行い、幕を取る人と二人になってから獅子頭を持ち、歯打ち、お砂子、もうだり、青柳と舞い獅子頭による悪霊退散の振りを勇壮に演じます。(十和田市無形文化財)

津軽神楽保存会



演目：宝剣

格調高く神事的要素の濃い津軽神楽は、津軽の神職によってのみ継承され、現在11番の舞が伝えられています。宝剣は、二二ギノ命、天照大神を案内・警護した猿田彦命の舞と伝えられ、道行きを妨げる者から護衛する任を強大な神威によって剣を汚すことなくまっとうした様を表した舞です。(国選択・青森県無形民俗文化財)